

左室流出路狭窄で心臓超音波検査の検査経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

閉塞性肥大型心筋症およびその他の原因による左室流出路狭窄例における臨床的特徴の比較研究

【研究の背景と目的】

左室流出路狭窄は閉塞性肥大型心筋症、心臓手術後、高齢者に認める心室中隔の形態変化（S字状中隔）など様々な原因で認められます。閉塞性肥大型心筋症は心不全、死亡の原因となり、管理および治療のガイドラインが示されています。しかし、他の原因でおこる左室流出路狭窄についてはまとまった報告が少なく、管理・治療に関して一定の見解は得られておりません。今回の研究は、左室流出路狭窄の原因を閉塞性肥大型心筋症およびその他の原因によるものと2群に分類し、各群における臨床所見、心エコー図検査所見から、各群の臨床的特徴を比較するものです。

【対象となる方】

2012年1月4日から2022年9月10日の間に当院超音波センターにて心臓超音波検査を受けた方

【使用する診療情報】

使用するデータや臨床情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

患者さん情報：年齢、性別、診断名、既往歴、併存症（高血圧/貧血/甲状腺機能異常症/心不全）

経過（心血管イベント）、投薬内容

安静時心電図（リズム、不整脈内容）

心臓超音波検査結果

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から2023年9月30日まで実施され、40名の患者さんが対象となります。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した超音波検査データやカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本循環器学会で発表予定し、学会誌に投稿予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 小林さゆき（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 担当者：小林さゆき（准教授）

電話番号：048-960-2670（医局直通） 月～木曜日 9時～17時

以上